

《令和7年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

令和7年4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画			実 施 管 理					
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
北 播 磨 綜 合 医 療 セ ン タ ー	がん診療における チーム医療の推進	・がん診療ボードの更なる整備。 ・診療報酬改定に伴う変更点や医師、看護師、薬剤師等の研修や資格確認を行い、適切な算定を行える運用の構築及び説明を行う。 認定看護師・専門看護師、薬剤師の配置人数を増やす。	・がん診療ボードの利用はすすんできたが、二次利用を行い情報発信ができるようにする。 ・がん認定・専門看護師や薬剤師の体制を強化し、がん患者治療管理料、がん診療連携拠点病院加算、がん患者指導管理料「イ」「ロ」「ハ」「ニ」及びがん性疼痛指導管理料を含めがん患者さんに伴う診療報酬の算定向上に努める。さらに院内の全体を対象にしたがん診療ボードの設立に向けて動く必要がある。	R8.3					
	ゲノム医療の提供	がん遺伝子パネル検査につき、必要な患者様は専門施設に送っている。当院で連携病院となり得ていない。	がん遺伝子パネル検査につき、連携病院の資格を取得するよう働きかける。	R8.3					
	がん看護実践の質 の向上	がん看護専門・認定看護師として、緩和ケア委員会やがん放射線療法看護リンクナース会の活動や、がん研修会を通じ、地域がん診療連携拠点病院としての看護師を育成する。 また、がん看護ミーティングの継続やがん診療ボードに参加し、外来や病棟、がん治療部門の連携を図りチーム医療を推進が必要である。	1. 緩和ケア医陰窩医、がん放射線療法看護リンクナース会でのリンクナースの取り組みを発表する。 2. がん看護研修会を開催する。 3. がん看護ミーティングを実施し継続看護を行う。 4. がん看護専門・認定看護師として、がん診療ボードに参加する。	R8.3					
	緩和ケア医療の推 進	緩和ケアチームカンファレンスの活性化し、がん診療におけるチーム医療の推進する。 カンファレンス方法を検討し、専門性を活かした活発な意見交換ができる場とする。IOPS実施時期を見直し、IOPS結果を緩和ケアカンファレンスで共有し具体的なケア計画が必要である。	1. カンファレンス方法を検討し専門性を発揮できるカンファレンスの雰囲気を作る。 2. IOPS実施時期を見直し、患者把握に努め、カンファレンスで共有する。 3. 患者ごとに緩和ケアチームとしての見解と提案内容を具体的に設定できる。	R8.3					
	がんリハビリテー ションの推進	1.がんリハビリテーション従事できる療法士の確保 2024年度研修に参加し従事要件満たす療法士数 PT 9名 OT 2名 ST 2名 2.がんリハビリテーションの充実を図る	今年度 PT1名6月末退職 OT1名産休育休中となるため、PT・OTの従事者確保が必要 看護師 現在病棟勤務者1名 がん専門看護師1名が研修修了 → 調整できれば、研修への参加を検討し従事要件を満たす療法士の増を図る。 がんリハビリテーションの単位数増に努める。	R8.3					
	がん相談支援セン ターの充実	1.がん患者およびその家族へがん相談支援センターを周知する体制の強化が必要である。 2.就労支援・離職防止への取り組みについて、院内スタッフへの周知が十分に行えていない。 3.様々な相談内容に対応するための相談員の育成が不十分である。	1.がん患者およびその家族へがん相談支援センターへの周知を行う。 -1)がん相談時に、情報入手経路について、アンケートを行う。がん相談時に、がん相談支援センター・がん患者サロン・社会保険労務士相談会のチラシ及び、がん情報サービス冊子等を持ち帰ってもらう。 -2)がん相談時にがん相談支援センターの、ラインアカウント及びQRコードについて説明を行う。 -3)外来案内掲示板の見直しを行う。 2.就労支援・離職防止について、がん相談支援センターの取り組みを、院内スタッフへ周知する。 -1)院内向けがん相談支援センター便りを発行し、就労支援・離職防止についての記事を掲載する。 -2)各種委員会・カンファレンス等で「社会保険労務士相談会」についての周知を行う 3.がん相談員研修の受講および相談者からのフィードバック体制を整備し、質の高い相談員を育成する。 -1)基礎研修(1)(2)及び、認定がん相談員継続研修を受講できるよう調整し、がん相談支援センタースタッフで共有する。 -2)国立がん研究センターや地域開催の相談員研修を受講し、知識や情報の更新を行う。 -3)がん患者に関わる多職種でカンファレンスを行う。 -4)「がん相談対応評価表」を用いた事例検討を企画する。	R8.3					
	院内がん登録実務 の精度向上	・院内がん登録データを活用し、登録数や各治療を広報することが求められている。 ・院内がん登録実務者のレベルアップが課題。 ・予後情報の取得方法について検討が必要である。(住民票照会、患者直接照会、『全国がん登録情報』からの情報還元など)	・国がんの公表時期に合わせ当院のホームページの、2024年症例のデータ更新を目指す。 ・がん登録を取り巻く環境変化に対応するため、各種研修会に参加する。 ・登録に必要な情報の収集方法や業務計画の見直しを行い、がん登録内容の精度向上に努める。	R8.3					

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。